

Vol. 71

# マイセルフ

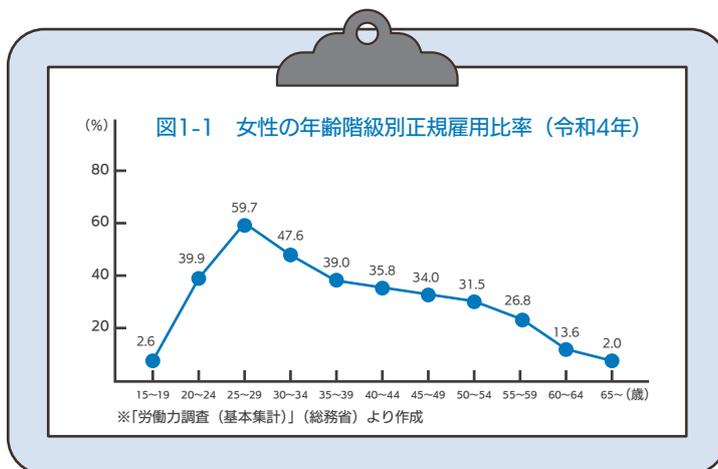
- 特集  
P1▶P2 IT 分野と男女共同参画
- P3▶P4 函館市内で働く女性の IT 人材  
はこだて男女共同参画フォーラム 2023  
治部れんげ氏 講演会要旨
- P5▶P6
- back cover 相談窓口 / Hakodate かがやきネット

函館市男女共同参画情報誌 / 2024.3

現在の日本は、男女共同参画において国際的に遅れをとっています。特に、出産を機に女性が非正規雇用化する「L字カーブ」に象徴されるように、様々なライフイベントに当たり、キャリア形成との選択を迫られるのは、多くが女性です。(図1-1)

その背景には、固定的な性別役割分担意識などの構造的な課題が存在しています。

こうした構造的な課題の解消に向けて、政府が取り組んでいる「女性活躍・男女共同参画の重点方針 2023 (女性版骨太の方針 2023)」や「女性デジタル人材育成プラン」について、IT分野に関する主な内容を紹介します。



## 女性活躍・男女共同参画の重点方針 2023 (女性版骨太の方針 2023) の構成

国では、5年に1度策定する「男女共同参画基本計画」に基づき、男女共同参画会議の意見を踏まえ、毎年6月に女性の活躍を促進するための重点方針を決定し、各府省の予算要求に反映させています。

第5次男女共同参画基本計画で掲げられた取組のほか、以下の3つを重点的に取り組むべき事項として定めています。

1

女性活躍と経済成長の好循環の実現に向けた取組の推進

2

女性の所得向上・経済的自立に向けた取組の強化

3

女性が尊厳と誇りをもって生きられる社会の実現

女性に多い非正規雇用労働者や、経済的に厳しいひとり親世帯の現状等を踏まえ、女性の所得向上・経済的自立に向けた取組をあらゆる観点から進め、具体的な施策を実施していきます。

### ✓ 「女性デジタル人材育成プラン」の実行

国の成長産業であるデジタル分野において、女性の職業移行を支援するため、「女性デジタル人材育成プラン」を策定しました。これに基づき、就労に結びつくデジタルスキルの習得支援や、デジタル分野への就労支援を推進します。

## 女性デジタル人材育成プラン

令和4年4月26日に開催された男女共同参画会議でプランが決定されました。このプランに基づき、3年間集中的に、関係府省が連携して女性デジタル人材の育成に取り組んでいます。

## 【プランの位置づけ】

コロナ下で厳しい状況にある女性の就業獲得や所得向上に向けて、就労に結びつくデジタルスキルを身に付けたデジタル人材育成の加速化という目標を掲げ、特に女性を対象とした取組を積極的に実施するため策定されました。また、プランと並行して、大学進学で理系に進む女性が少ないなど、教育段階から始まっているとされるデジタル分野のジェンダーギャップの解消にも取り組みます。

## 【プランのポイント】

デジタルスキルの向上と、デジタル分野への就労支援という2つの視点から、具体策を盛り込んだ総合的な対策です。

- 🔧 デジタル分野への間口を広く取り、女性の参入を促進
- 🔧 フルタイムで働けない女性も、柔軟な働き方でデジタル就労ができる環境を整備
- 🔧 全国各地域へ官民連携の取組を横展開

## 【具体的な取り組み】

具体的な取り組み・施策にはこのようなものがあります。

### 1 デジタル スキル 習得支援

#### デジタルスキル教育コンテンツの提供

「デジタル人材育成プラットフォーム」のポータルサイト上で女性が活用しやすい講座を抽出するとともに、主要な支援策を一覧化し、求職者などが必要な情報にアクセスしやすい工夫を行います。

### 2 デジタル 分野への 就労支援

#### 女性の就業機会創出につながるテレワークの定着・促進

時短勤務やフレックス勤務ともなじみやすく、柔軟な働き方を可能とするテレワークの定着・促進に向けて、関係府省や自治体が連携し、全国的な導入支援体制の整備などを実施します。

### 3 全国各地域 への横展開 に向けた 周知・啓発

#### 女性デジタル人材育成事例集の作成

官民の優良事例やその背景の考え方を取りまとめ、「デジタル人材プラットフォーム」のポータルサイトなどに掲載し、周知・啓発を行います。

デジタル人材育成プラットフォーム「マナビDX」



(<https://manabi-dx.ipa.go.jp/>)



## 理工チャレンジ(リコチャレ)

大学の理工系の学生に占める女性の割合の低さが課題となっていることから、女子中高生・女子学生が、理工系分野に興味・関心を持ち、将来の自分をしっかりイメージして進路選択(チャレンジ)することを応援するため、内閣府男女共同参画局が中心となって行っている取り組みです。

## 【具体的な取り組み】

### 🔧 夏のリコチャレ

夏休み期間中、企業、学術団体等がイベントを実施します。

### 🔧 理工系女子応援ネットワーク会議

理工系女子応援ネットワークに登録した団体が出席し、相互連携に向けた情報共有や取組方針を検討します。

詳細はホームページをご覧ください！

理工チャレンジ(リコチャレ)



(<https://www.gender.go.jp/c-challenge/>)



大学(学部)の理工系の学生に占める  
女性の割合

理学系：27.8%

工学系：15.8%

※「令和4年度学校基本調査」(文部科学省)より作成

→次のページでは市内で働く女性のIT人材を紹介します！

# 無意識のジェンダーバイアス 家庭・教育で できる取り組み

はこだて男女共同参画フォーラム 2023 では、東京工業大学リベラルアーツ研究教育院准教授の治部れんげさんにご講演いただきました。講演の中から、主な内容をいくつかご紹介いたします。

## ジェンダーとは

「ジェンダー」とは、社会的・文化的に構築された性差、または作られた性差と言われます。意味の付加された性差ということもあります。これと対照的な言葉が生物学的な性差、カタカナで「セックス」、つまり出生時に割り当てられた性別ということです。

話し方や仕事の振り分けにもジェンダーが隠れています。例えば、私は子どもの頃、口喧嘩が強かったのですが、「女の子なのにそんな口の利き方しないの」と言われたことがあります。また、皆さんの中には、「男性は外回りで、女性はお茶くみ」のような世界を知っている方もいらっしゃると思います。今、「あなたは女性だからお茶くみをして」と言ったら差別になりますよね。

ある時点までは「嫌けどしょうがないかな」と受け入れられていたものが、だんだん「いや駄目でしょう」と、誰かが声を上げ変化していくこともあれば、法律によって禁止されたりすることがあるかもしれません。ジェンダーについては、時代・社会によって変わっていくことが重要だと思えます。

## ジェンダーバイアスについて

「ジェンダーバイアス」とは、社会的につくられた性差に基づく偏見や決めつけのことです。「男の子なんだから泣いちゃだめ」「女の子なんだから優しくしなさい」などと言われたことはありませんか。これらは非常によくある性別に基づく決めつけです。

問題は、これが我々の生活にすごく根付いているので、つい口にしてしまったりする人がいっぱいいることです。それに対して問題意識を感じる人であれば、どうすれば良いかとモヤモヤを感じるかもしれません。バイアスを解消していくためには精神的なパワーを失わず、発信し続けることが大事なので、周りの同じように感じている人と「こういうことあるよね」と言い合える場を作って、笑いに転換するなど、共感しあえる仲間を作ると良いのではないかと思います。また、他人のバイアスに気付くのは簡単ですが、自分のバイアスに気付くのは難しいので、自分のバイアスを指摘してくれる人がいるとすごくいいです。私の場合は、子どもに「ママ、それジェンダーだよ」と指摘さ

れたりします。ユーモアの中でそういうことを言い合うことができると、気が付きやすいということがあると思います。

その中で、なぜ自分に起きたことが他の人には起きなかったのかを考えると、例えば出身地や家族構成が違っていたり、モヤモヤが生まれてくる原因や、場合によってはモヤモヤしていてもなんとかなるようなシチュエーションがわかってくるのではないかなと思います。

## 家庭ができること

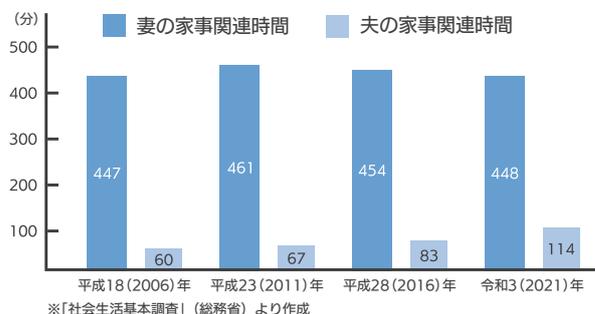
無意識のジェンダーバイアスに対して家庭でできることは、男性が家事参加することです。

なぜ日本のジェンダー問題がなかなか変わらないのか、元を正していくと、やはり家庭の責任がほとんど女性に偏っていることがあるのではないかと思います。(図 2-1) そうしたことが、女性の社会進出を阻んでいるということがお分かりになると思います。

しかし、この状況もだいぶ変わってきており、育児介護休業法が変わり、この1年ぐらいで、配偶者が出産する場合に、雇用主は男性に対して育休取得の意向について聞かなければいけなくなりました。皆さんの周りでも、育児休暇を取る男性が出てくるのではないかと思いますし、それが当たり前になると、育休を機に家庭の時間を取りやすくなるのではないかと期待しています。

ジェンダー平等という言葉は、スローガンのように掲げられているところがありますが、何を言うかというよりも、家庭のケア労働に男性がいかに関わるかということが肝になるのではないかと思います。

図2-1 6歳未満の子どもを持つ夫・妻の事関連時間（一週間全体）



## 教育ができること

私が学校現場で変わってきていると思ったことの一つが、息子の中学校のお便りです。この間、生徒会役員選挙があり、役員の名前を見ると全員女子のようで、息子に聞いてみると、「全部女の子だよ」と言っていました。息子からは、「こんなのだままだしょ。いちいち驚くとかちょっと古いんじゃない、ママ」と言われました。昭和の時代には、応援団長といえば男子が当たり前でしたが、今はそれらの常識が変わってきているので、若い方は、最近の状況を親の世代に教えてあげるのと良いのではないかと思います。

もう一つは教科書です。例えば、男子のような名前と女子のような名前の方が交互に登場しているほか、子どものファッションや性格など、設定がそれぞれ変えられています。これも昭和の感覚だと、男の子は元気に描かれたり、女の子は大人しそうに描かれたりしていましたが、そのような固定的表現を今の教科書ではしていません。性別を描き分けよう、動物のイラストを使うという工夫も見られます。これらの取組みについて、文部科学省に、教科書のイラスト表現に規定があるのか尋ねたところ、特に規定はなく、各教科書会社がそれぞれ工夫しているとのこと、これはとても良い流れだと思います。

一方で、まだ課題があります。これは個人の問題かもしれませんが、先生が、「男の子は数学ができて、女の子は数学ができない」という偏見や思い込みを、そのまま生徒に言ってしまったという事例も聞きます。そのことで、女の子が理工系に進むことをやめたりするなど、その後の選択に影響が出るかもしれません。

もう一つ、先生の働き方改革が大きな問題になっています。先生が遅くまで学校に残り、朝早くから来ていたりするところがありますが、そのような状

況では先生のなり手がなくなってしまう可能性があります。また、バイアスを持ったような発言が出てきてしまう背景には、その人自身が充実した状況で働いていないということがあつたりします。そのため、先生のワークライフバランスが実現して充実した私生活を送れるようになると、ジェンダーバイアスが無いような言葉がけを子どもにできるようになっていくのではないかと思います。

## まとめ

ジェンダーというのは社会的につくられた性差です。作られた性差という言葉にピンと来ない方には、わかりやすいような事例や、ビジュアルでもってお話をされてみるといろいろな方に伝わるのではないかと思います。

また、無意識のバイアスは誰にでもありますので、あるという前提で自分の発言などを見直すことが大事だと思います。

さらに、無意識で悪気がないとしても、人の尊厳や決定を損なうことがあるということも知っておくことが大事だと思います。家庭や教育の場で変化は起きているので、その変化をどうしたら加速させることができるかということ、ぜひ一緒に考えていただけたらいいかなと思います。

## 講師プロフィール



東京工業大学リベラルアーツ  
研究教育院准教授

### 治部 れんげ氏

日経 BP 社にて経済記者を 16 年間務める。ミシガン大学フルブライト客員研究員などを経て 2021 年 4 月より現職。内閣府男女共同参画計画実行・監視専門調査会委員、日本ユネスコ国内委員会委員、東京都男女平等参画審議会委員、豊島区男女共同参画推進協議会会長、日本メディア学会ジェンダー研究部会長、日本テレビ放送網株式会社 放送番組審議会委員など。一橋大学法学部卒、同大学経営学修士課程修了。

## 【函館市女性センター主催講座のおしらせ】

唱歌や歌謡曲をピアノの演奏とともにみんなで歌い、楽しいひと時を過ごしましょう。

歌でいきいき、楽しい時間を  
歌楽ひろば

6月10日(月)

午後2時～3時30分

申込開始/5月13日(月)午前10時より



講師さんと一緒に  
ジビエ料理に挑戦!

6月29日(土)

午前11時～午後1時

申込開始/5月30日(木)午前10時より



# 函館市内で働く女性のIT人材

この先、需要が高まり多くの人材が必要となる IT 分野において、現在函館市内で活躍しているお2人にお話を伺いました。

file:01



TOPPAN デジタル株式会社

ほりた みずほ  
**堀田 瑞穂さん**

北海道函館市に生まれ、青森県むつ市で育つ。公立はこだて未来大学へ進学。大学卒業後は、社会課題を解決するデジタルサービスの提供に興味を持ち、凸版印刷(株)(現 TOPPAN デジタル(株))に入社。

**現在お勤めの会社の主な事業やご自身の担当業務、特徴ややりがい、魅力などを教えてください。**

現在は、TOPPAN デジタル(株)の函館サテライトオフィス ICT KŌBŌ® HAKODATE で働いています。主に地域の方々や行政の方々などと新規ソリューション<sup>1)</sup>開発を行っています。また、在京のお客様向けのシステム開発など、ニアショア<sup>2)</sup>開発にも携わっています。時期によって異なりますが、業務全体の大半は前者の新規ソリューション開発が占めるイメージです。ICT KŌBŌ® で働く魅力は、エンジニアがものづくりに携われる職場であるということです。入社前、技術職というと、既に上流工程で決められた内容を開発する仕事に携わるものと想像していましたが、ICT KŌBŌ® では地域課題発掘の段階からエンジニア自身が関わります。そして、自身が開発したソリューションやサービスによって、地域の方々が喜ぶ顔を間近で見られることも、やりがいに繋がっています。函館ではまだ地域ならではの新規ソリュー

ション開発の実績はありませんが、現在地域の様々なプレイヤーの方にお話を伺っており、課題のヒアリングを進めています。これからどんどん、函館市へ還元できるものづくりを進めていきたいです。

**IT 分野で働いていて、日々思うことを教えてください。**

ICT KŌBŌ® HAKODATE にはまだ私以外の女性社員はいませんが、その他の拠点では最近特に若手の女性エンジニアの方の採用が増えてきており、IT分野への女性の進出に勢いがあると感じています。一方で、自身のキャリアを考える中で、自分自身と同じような職種・業務をしている身近な女性の先輩がいないため、数年後の自分自身のキャリアや働き方のイメージがつきにくいと感じることはあります。今後のライフプラン・キャリアプランについて、参考になったり相談ができたりするような身近な女性の先輩の存在は、社内社外問わず欲しいと感じます。地域で働く女性と繋がるコミュニティなどを形成することによって、社外の方々との交流する機会を作ることができれば良いのかもしれない。

**女子中高生や女子学生の皆さんへメッセージをお願いします。**

これから将来の働く自分自身の姿を思い描き、選択を迫られる機会が増えてくると思います。そんな時には、自分自身の選択肢を広く持つことが重要だと思います。少しでも「面白そう」「楽しそう」「やってみたい」など、自分の感情を動かしたものがあればどんどん調べて、吸収してほしいと思います。少しの興味が自分の可能性を大きく広げることに繋がると思います。理系の分野で学ぶ・働く女性の割合は、今は多くありませんが、性別に関係なく活躍できる業界だと考えています。皆さんが「女性だから」という理由で選択をするのではなく、「やりたいこと」で素直に自分自身の将来を選ぶことを願っています。



株式会社ネットリソースマネジメント

やしま あやの  
八島 綾乃さん

東京都出身。高校時代を函館で過ごし、札幌の大学へ進学。大学卒業後は札幌市内のデザイン事務所に就職。コロナ禍を機に函館に戻り、現職。

現在お勤めの会社の主な事業やご自身の担当業務、特徴ややりがい、魅力などを教えてください。

株式会社ネットリソースマネジメントは、東京に本社を置き、「可視化プロバイダ」としてあらゆる情報を可視化する情報通信サービスとプロダクト<sup>3)</sup>の企画・開発・提供を主な事業とする会社です。2020年には函館市・地元企業との三者連携のもと「働く空間から生まれるデータで働き方を変える」をミッションに掲げる【ワークラボ函館】を開設し、地域の人の協力を得ながら研究を推進するとともに、働く現場目線でのアプローチによる新たなソリューション開発に取り組んでいます。

働く上での1番の魅力は、函館に住みながら東京の業務と【ワークラボ函館】の先進的な活動の両方に携わることができることです。拠点が離れていることでコミュニケーションや情報共有の大変さもありませんが、課題に応じたツールの導入など「働く」を良くするための様々な工夫を自身で実践していくことに、やりがいを感じています。

IT分野で働いていて、日々思うことを教えてください。

リモートワークや時間単位休暇など、個々人に合わせた働き方を支援する仕組みが積極的に採用されてい

ます。業務も在宅でできるよう調整が可能なので、男性社員がこういった仕組みを柔軟に活用して子育てや介護などに参加していて、初めはとても新鮮に感じたことを覚えています。一方で、IT分野で働く人の割合としてはまだまだ女性の比率が低く、女性管理職などのキャリアモデルが少ないことは課題だと感じています。「データで働き方を変える」をテーマに活動する【ワークラボ函館】に所属する者として、私自身が声を上げ続けることでキャリアを築き、「IT分野における女性の働き方」を示していきたいと考えています。

女子中高生や女子学生の皆さんへメッセージをお願いします。

学生時代はIT分野という理系の学問を修めた人が就く業種というイメージが強いかもしれませんが、そんなことはないよ！というのをいちばんに伝えたいです。私は中高生の時は理系科目が苦手で、これまでプログラミングなどを勉強したことはありませんが、IT分野で得意なことを活かして働くことができています。

社会のあらゆる出来事に興味関心を持つことや自分の強みを見つけて活かすことが、IT分野に限らず社会で働く上でプラスになると感じています。理系分野に興味のある人はもちろん、文系分野に進もうと考えている人も、就職の際にはぜひIT分野にもチャレンジしてみてください。一緒に「IT分野における女性の働き方」をつくっていきましょう！



「理系」のイメージが強いIT分野ですが、お2人の仕事内容を伺うと、地域課題の解決や働き方の変化など、私たちの生活に密接にかかわっている分野であることがわかりました。

キャリアモデルが少ないという課題がある一方で、ライフイベントやライフスタイルに合わせた就業形態が選べるという点では、ワークライフバランスを保ちやすい分野なのかもしれません。お2人のお話が、皆さんの選択肢を広げるきっかけになれば幸いです。

堀田さん、八島さん、貴重なお話をいただき、ありがとうございます！

## 相談窓口

配偶者からの暴力、家庭生活、困りごと、悩みごとなど、お気軽にご相談ください。

### 函館市女性センター

●DV・虐待・離婚相談 ●働く女性の悩み相談  
火・木曜日 10時～15時  
水・金曜日 18時30分～20時30分  
Tel.84-8742

●セクシャルマイノリティ相談  
水曜日 13時～17時  
Tel.23-4188

### ウィメンズネット函館

月～金曜日 10時～17時  
Tel.33-2110

### 女性相談室

(函館市配偶者暴力相談支援センター)

〔市役所本庁舎2階〕 Tel.21-3010  
〔亀田支所〕 Tel.86-7100  
月～金曜日 8時45分～17時30分

### 函館・道南 SART

●性暴力被害者相談 Tel.85-8825  
月～金曜日 10時～17時

### 配偶者暴力相談支援センター

〔渡島総合振興局環境生活課〕  
月～金曜日 9時～17時 Tel.47-5789

### 家庭生活相談 (電話および面談)

〔函館家庭生活カウンセラークラブ〕  
●女性センター Tel.84-8742  
月・金曜日 10時～12時・13～15時  
火・木曜日 18時30分～20時30分  
水曜日 10時～12時

●湯川支所 Tel.57-6161  
火曜日 10時～12時

●亀田支所 Tel.45-5581  
木曜日 13時～15時

### マザーズ・サポート・ステーション

●妊娠 ●出産 ●子育て  
〔函館市子ども未来部母子保健課〕  
Tel.32-1565  
月～金曜日 8時45分～17時30分

### ひとり親家庭サポート・ステーション

●市役所本庁舎2階 Tel.21-3193  
月～金曜日 8時45分～17時30分  
第2木曜日 8時45分～19時30分  
●亀田支所 Tel.86-7100  
月～金曜日 8時45分～17時30分  
第4木曜日 8時45分～19時30分  
※第2・第4木曜日17時30分以降は要事前予約

### 道立女性相談援助センター

月～金曜日 9時～17時  
Tel.011-666-9955

### 女性の人権ホットライン

〔函館地方務局〕 Tel.0570-070-810  
月～金曜日 8時30分～17時15分

### 北海道警察函館方面本部

相談センター #9110 / 緊急時は110番へ

### 函館被害者相談室

水曜日 10時～15時 Tel.43-8740

毎月1回配信中!

### 函館市男女共同参画メールマガジン Hakodate☆かがやきネット



配信をご希望の方は、  
どうぞ、ご登録ください!

#### ★登録方法★

- ①函館市 ホームページ ( <https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/docs/2014012900355/> )
- ②函館市女性センター ホームページ ( <https://www.hakodate-josen.com> )
- ③配信サイト「まぐまぐ!」 ( <https://mobile.mag2.com/mm/0000233240.html> )

女性センターで行われている講座やイベント、職場や家庭での男女共同参画(ワーク・ライフ・バランスなど)のエッセンス、講演会や書籍の紹介、内閣府からのお知らせなど、男性と女性がともにいきいきと暮らすためのお役立ち情報を、誰もが気軽に読むことができる内容にしたものです。

▶ QRコードから  
簡単アクセス!



HAKODATE 男女共同参画情報誌  
マイセルフ 2024・春 Vol.71  
令和6年(2024年)3月発行

企画・編集/函館市女性センター  
発行/函館市市民部市民・男女共同参画課  
〒040-8666 函館市東雲町4番13号  
TEL.0138(21)3470 FAX.0138(23)7173  
E-mail: danjokyodo@city.hakodate.hokkaido.jp

